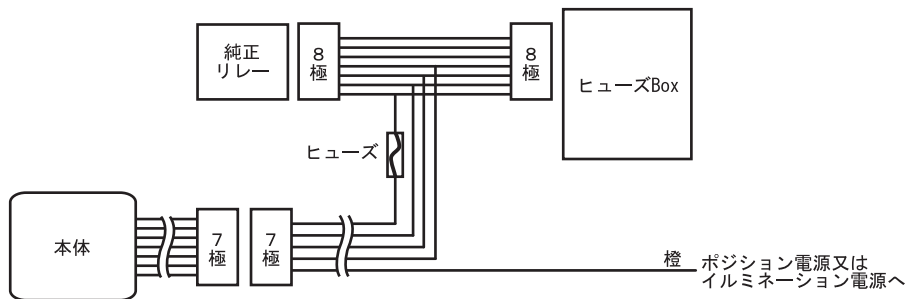


ウィンカーポジションキット付属品

本体×1、リアキャンセルアダプター×1、ギボシセット×2、両面テープ×2、結束バンド×7、エレクトロタップ×2

取り付け図

下図の様に本体ハーネスとウィンカーリレー、車輛ヒューズBoxを接続して下さい。



純正ウィンカーリレーへの接続

- 図1からウィンカーリレーの場所を確認し、ウィンカーリレーからハーネスを外します。
※ウィンカーリレーの取り外しでご不明な点はディーラー様や整備工場様へお問い合わせ下さい。
- 外したウィンカーリレーの場所に製品の8極側のカブラーを取り付けます。
製品のオス側をハーネス側に、メス側を先に外したウィンカーリレーに取り付けます。
- 製品の橙線をポジションランプ電源かオーディオ等のイルミネーション線へ接続します。
※ポジションランプ電源・イルミネーション線へ接続は、必ずテスター等で確認下さい。
- メインハーネスの7極カブラーと製品本体の7極カブラーを接続します。
- 配線は駆動部品に触れないように結束バンドなどで固定して下さい。

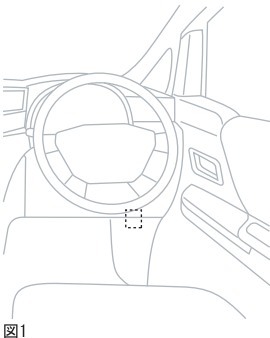


図1

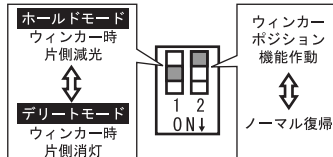
動作確認

- ポジションランプONにて動作します。
- ウィンカーの動作状態は下表にて確認して下さい。

ホールドモード	ウィンカーOFF	右ウィンカーON	左ウィンカーON
右ウィンカー	減光(調整可)	ノーマル作動(点滅)	減光点灯
左ウィンカー	減光(調整可)	減光点灯	ノーマル作動(点滅)

デリットモード	ウィンカーOFF	右ウィンカーON	左ウィンカーON
右ウィンカー	減光(調整可)	ノーマル作動(点滅)	消灯
左ウィンカー	減光(調整可)	消灯	ノーマル作動(点滅)

- ウィンカー状態からポジション状態に切り替わる時に若干タイムラグがあります。
- ディップスイッチ2をON!にするとノーマル状態になります。



本体の固定

- 室内の運転の妨げにならないような所に付属の両面テープで固定して下さい。

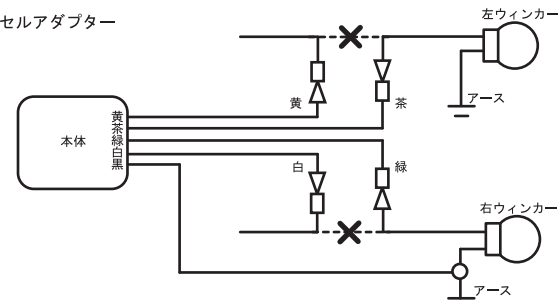
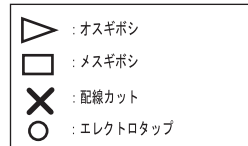
※注意

- 本体自体も発熱します。取付場所によっては本体破損をまねく可能性があります。慎重に取付場所の選択を行って下さい。
- 本体をパンチング、スポンジ等で巻きつけることは絶対に避けて下さい。なるべく本体が冷えるように考慮した取付けを行って下さい。
- 両面テープは貼付け面を脱脂・洗浄してから貼付けて下さい。

純正部品の脱着についてご不明な点は、カーショップ・ディーラーへお問い合わせ下さい。

取り付け図

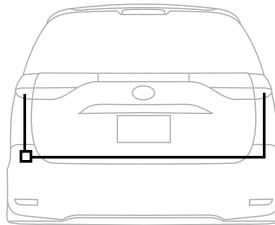
下図の様に車輛ハーネスとリアキャンセルアダプターを接続して下さい。



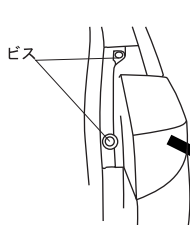
リアキャンセラー取付方法

- 両側のテールランプを取り外します。
※テールランプの取り外しでご不明な点はディーラー様や整備工場様へお問い合わせ下さい。
- 左リアウィンカーの電源側の配線をカットして、車両側へメスギボシを付けてリアキャンセラーの黄線、バルブ側へオスギボシを付けてリアキャンセラーの茶線を接続して下さい。
右リアウィンカーの電源側の配線をカットして、車両側へメスギボシを付けてリアキャンセラーの白線、バルブ側へオスギボシを付けてリアキャンセラーの緑線を接続して下さい。
(白、緑と黄、茶の接続関係は逆でも問題ございません)
※ウィンカーの電源線はテスター等で確認下さい。
- リアキャンセラーの黒線をリアウィンカーのアース側にエレクトロタップを用いて接続します。
(取り付け図では右ウィンカーになっていますが、左右どちら側でも構いません)
※ウィンカーのアース線はテスター等で確認下さい。
- リアキャンセラーを結束バンドなどで固定して下さい。

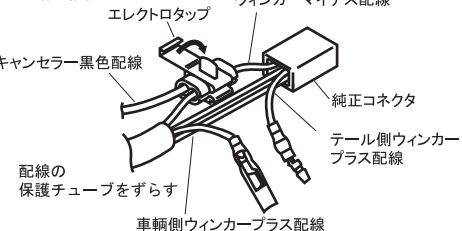
〈設置図〉



〈テールランプの取り外し〉



〈配線の接続図〉



チェック事項

- ウィンカーを出したときにハイフラッシャーになる。(超高速点滅)
→ウィンカーのカブラーが刺さっていないか、奥までキッチリ入っていないか再度確認し直して下さい。
→車両のウィンカーの電源線をカットしてギボシ(オス・メス共)を接続した部分の接触不良が考えられますので作業をやり直して下さい。
→片側の場合は、ギボシがオス・メス逆の場合があります。配線図を確認して作業をやり直して下さい。
- ウィンカーが出ない。
→ウィンカーリレーが奥までしっかり入っていないか再度確認し直して下さい。
- ポジション点灯しない。
→本体から出ている赤線、もしくは橙線の接触不良が考えられますので再点検して下さい。
- 純正パーツが作動すると同調して動作してしまう。(例:ウィンカーポジションを動作させるとコーナーセンサーが誤作動する)
→ハーネス等からノイズを感じて動作してしまうのでハーネスの重ね合わせ方を工夫するなどして設置して下さい。
- リアポジションがキャンセルされない。
→リアキャンセラーで黒線の接触不良が考えられますので再度確認して下さい。
- リアキャンセラーからウィンカーに連動した音がする。
→正常に作動しています。

注意! 配線ミスによる故障は保障の対象外となります。

注意! 本体への浸水による故障は保障の対象外となります。

純正部品の脱着についてご不明な点は、カーショップ・ディーラーへお問い合わせ下さい。